明石工業高等専門学校	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	音楽

科目基礎情報

科目番号	0012	科目区分	一般 / 選択
授業形態	実技	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	都市システム工学科	対象学年	1
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材	①歌いやすい合唱曲およびコードネームに関するプリント　②高校音楽Ⅰ改訂版　Music View（教育出版）		
担当教員	泉 由香		

到達目標

1. 発声と合唱の基礎を習得し、実践できる。
2. コードネームの基礎を習得している。
3. リコーダーの基礎を習得し、実践できる。
4. 音楽的なパフォーマンスについて企画・実践できる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	発声と合唱の基礎を十分に習得し、自在に実践できる。	発声と合唱の基礎を習得し、実践できる。	発声と合唱の基礎を習得・実践ができない。
評価項目2	コードネームの基礎を十分に習得している。	コードネームの基礎を習得している。	コードネームの基礎を習得できない。
評価項目3	リコーダーの基礎を十分に習得し、自在に実践できる。	リコーダーの基礎を習得し、実践できる。	リコーダーの基礎を習得・実践できない。
評価項目4	音楽的なパフォーマンスについて的確に企画・実践できる。	音楽的なパフォーマンスについて企画・実践できる。	音楽的なパフォーマンスについて企画・実践できない。

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 (A)

教育方法等

概要	音楽を通して自分自身を表現する喜びを知る。ちまたに溢れる使い捨ての音楽だけでなく、時代を経ても生き残る本物の「音楽」を洋の東西を問わず体験する。
授業の進め方・方法	授業は主として音楽表現の実技形式で進める。
注意点	テキストや楽曲はレベルの高いものもあります。丁寧かつ真剣に練習しなければ達成感を得ることができません。また「音」を扱う科目なので不要な私語は慎むこと。リコーダー(全員)・ピアニカ(もしあれば)を用意すること。 合格の対象としない欠席条件(割合)　1/4以上の欠課。 実務経験：声楽家として国内外でのリサイタルやオーケストラとの共演があり、その経験を活かして、学生に音楽上の具体的かつ最新の情報でもって指導できる。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	パート分け、グループ分け、ストレッチ、発声練習、簡単な2声の曲を歌ってみる	簡単な2声の曲が歌える。
		2週	合唱のためのエチュードⅠ	ピアノ伴奏の付いた簡単な曲が歌える。
		3週	合唱のためのエチュードⅡ	ピアノ伴奏の付いた簡単な曲が歌える。
		4週	コードネームの基礎Ⅰ	最も簡単な3和音を理解する。
		5週	合唱のためのエチュードⅢ	2声部または3声部のJ・POPを合唱できる。
		6週	合唱のためのエチュードⅣ	小人数でも音程が正しくとれるようになる。
		7週	合唱のためのエチュードⅤ	小人数でもハーモニーが美しく響かせられるようになる。
		8週	中間試験実施せず	
	2ndQ	9週	合唱のためのエチュードⅦ	グループ発表し、自己満足ではなく人に何かを伝えられるようになる。
		10週	コードネームの基礎Ⅱ	コードネームの練習と小テスト
		11週	リコーダーの基礎Ⅰ	リコーダーの魅力を再発見する!
		12週	リコーダーの基礎Ⅱ	簡単な合奏曲を吹ける。
		13週	実技テストのための企画・練習Ⅰ	自分の得意分野での自由な音楽パフォーマンスを企画する。
		14週	実技テストのための企画・練習Ⅱ	自分の得意分野での自由な音楽パフォーマンスを企画・練習する。
		15週	実技テスト兼「クラス発表会」	実技テスト兼「クラス発表会」
		16週	期末試験実施せず	
後期	3rdQ	1週	ア・カペラに挑戦Ⅰ	まず8小節程度の短い4声部の曲で美しいハーモニーを実感しながら歌う。
		2週	ア・カペラに挑戦Ⅱ	ア・カペラの選択曲からグループに適したものを選びグループで練習する。
		3週	ア・カペラに挑戦Ⅲ	練習＆チェックを繰り返して、自分たちの進歩を実感する。
		4週	ア・カペラに挑戦Ⅳ	グループ発表会で演奏することだけでなく、他の人の演奏を集中して聴く喜びを味わう。
		5週	コードネームの基礎Ⅲ	セブンスコード・分数コードを覚える。曲の分析もできる。
		6週	コードネームの基礎Ⅳ	小テストで知識の確認。
		7週	歌う喜びⅠ	人気・実力ともに高い現代作曲家の合唱曲に挑戦する。

		8週	中間試験実施せず	
	4thQ	9週	歌う喜びⅡ	コードを理論的にも理解した上で合唱曲を歌う。
		10週	歌う喜びⅢ	できるだけ良い発声と響きでもって、曲の細部まで丁寧な表現を心がける。
		11週	歌う喜びⅣ	各自が良い響きを意識し、丁寧かつダイナミックな表現で全員で歌う喜びを実感する。
		12週	実技テストのための企画・練習Ⅰ	実技テストのための企画ができる。アカペラアンサンブル・ギターソロ・ピアノソロ等。
		13週	実技テストのための企画・練習Ⅱ	限られた時間と設備の中で企画・練習ができる。
		14週	実技テストのための企画・練習Ⅲ	練習を積み仕上げる。
		15週	実技テスト兼「クラス発表会」一年の総まとめ	実技テスト兼「クラス発表会」一年の総まとめ
		16週	期末試験実施せず	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	1	
				目標の実現に向けて計画ができる。	1	
				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	1	
				チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	1	
				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。	1	
				当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。	1	
				チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。	1	

評価割合

	出席状況	平常点	実技テスト	歌またはリコーダー小テスト	コードネーム小テスト	合計
総合評価割合	10	15	35	20	20	100
基礎的能力	10	8	25	20	20	83
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	7	10	0	0	17